

■ 銘柄: 穀物 ■

氏名: 渡邊 重司

明朝発表の作付け進捗に注目!



■ コメント ■

コーン先限22,530円 -850 一般大豆先限40,750円 -1510
コーン・大豆ともシカゴ安に加え、円高進行とシカゴ時間外取引の軟調にも引っ張られて終日大幅安となった。一般大豆に至っては一部ストップ安を含む急反落である。

現在コーンの上昇トレンドは継続となっているが、当面25日平均線と50日平均線が通過する22,000円から21,500円レベルまでの押しがあってもおかしくない。MACDのデッドクロスが押し目形成の判断とするが、無難にいくなら平均線までの押しを待って買い場と判断したい。

明朝シカゴ引け後に米農務省より10日現在の生育状況が報告される。この時期は作柄にも注目が集まるが、まだ一部作付け遅れの動向にも注意は必要とみられる。主要産地で遅れているのがイリノイ州とインディアナ州だが、前週発表時でまだ10%の作付けであり、遅れが目立った昨年を更に上回る状況。これからピッチは上がると見られるも、場合によっては大豆へシフトされる懸念もあり、当面コーンの押し目買い、大豆の急落リスクは継続されるものと思われる。

【コーン買い・大豆売り】鞘取りも一考である。(16:30 渡邊)

■ テクニカル ■

移動平均 (25MA)
21904
移動平均 (50MA)
21339

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。